

市区町村名	茨城県 <small>なめがたし</small> 行方市	担当部署	政策推進室
		電話番号	0299-72-0811

※当市入力フォントは、「MS ゴシック」に変えて、Windows10 標準搭載の「UD デジタル教科書体 N-R」を使用しています。

1 取組事例名	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国初！行政・教育分野一体での「UDフォント」活用 (SDGs達成に向けた誰にでもやさしいまちづくりと質の高い教育の実現を目指して) 	
2 取組期間	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 (2018) 年度～ (継続中) 	
3 取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・誰にとっても読みやすく、読み間違えにくく、また学校教育にも最適な「ユニバーサルデザインフォント (UDフォント)」を全庁・全小中学校で使用開始しました。 (平成 31 (2019) 年 2 月～全国の自治体で初めて試行的に開始。同年 4 月から本格運用) (令和 2 (2020) 年 4 月 3 日に開始 (当時県内初・全国 7 番目) した「楽器寄附ふるさと納税」寄附者へのお礼状として、「UDフォント」を使用) 	
4 背景・目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・行方市では、「伝える」情報発信から、しっかりと「伝わる」情報発信を目指し、平成 29 (2017 年 5 月から) 広報紙やなめがたエリアテレビ (全国 3 番目、関東初の地上波デジタル放送) において、誰にでも見やすくわかりやすい「UDフォント」を活用してきました。 持続可能なまちづくりをさらに進めていくためには、行政・教育分野が一体となり、市全体で「UDフォント」を活用することが有効だと考え、平成 31 (2019) 年 2 月から「公共UDフォントプラン」を試行的に導入し、平成 31 (2019) 年 4 月から本格的な運用を開始しました 	

5 取組の具体的内容

◆誰にとっても読みやすく、読み間違えにくいUDフォント

<高齢者にも>



↓UDフォント

3,657円

3,657円

UDフォントは文字がぼやけて見えてしまう状況でも見やすく設計されており、できる限り誤読を防ぎ、読み手に伝わりやすい文書作成をしています。

3 すべての人に
健康と福祉を



<明朝体の比較>

○従来のビジネス書体

吾輩は猫である。名前はまだ無い。
どこで生れたかとうと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。この書生と1905年(明治38年)1月『ホトトギス』で発表

●BIZ UD明朝(最終行のみBIZ UDP明朝)

吾輩は猫である。名前はまだ無い。
どこで生れたかとうと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。この書生と1905年(明治38年)1月『ホトトギス』で発表

一つ一つの文字がくっきりと表示でき、文章として読みやすく、紙面でもデジタルデバイスでも、遠くから見てもしっかりと読むことができます。

<教育現場にも>

ゴシック体
山近令心ふ

教科書体(手書き)との違い

- 画数が異なる
- 形状が異なる
- 運筆がわかりにくい

両者の欠点をカバー

UDデジタル教科書体
山返令心ふ

一般的な教科書体
山返令心ふ

子どもによって、ストレスを感じる部分

- 筆を押し付けた形状
- 先端のとがった形状
- 線の太さの強弱が大きい

読み書きに困難さがある発達障害の児童・生徒のみならず、通常学級の生徒にも読みやすいとされる「UDデジタル教科書体」を積極的に使用しています。

<英語教育にも最適>

- ◎ 手の動きを重視した形状
ab → ab
- ◎ 左右非対称でわかりやすい形状
bd → bd
- ◎ なるべく少ない画数で書ける
KR → KR

英語を習い始める子どもたちにとって、つまづきにくい字形が特徴

学習方法にあわせた比率の4線を引くことができ
教材づくりの時間を大幅に短縮できる機能

5 6 5 Shift + ¥マークで 4線が引ける 5 9 5

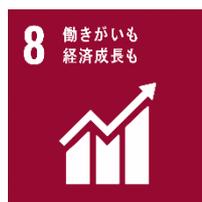
5 English 6 5

書き学習用のアルファベット書体
UD Digikyo Writing

5 English 6 5

文科省教材の4線比率に合わせた正体欧文
UD Digikyo Latin

また、このアルファベット書体は、キーボードの「shift」と「¥マーク」で4線が引けるので、教員の教材づくりの時間を短縮でき、教材づくりの質の向上にもつながっています。



これらを実践していくことで、市民の皆さんには、行方市（なめがた）を好きになってもらいたいと考えています。



6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

・当市では高齢化率 35%を超えるため、文字が小さく読みづらいと感じる税金や保険料の通知書をはじめ、案内文書を可能な限り「UDフォント」に変えました。

そのほか、行政では議案書、予算書・決算書、会議資料、報告書、プレスリリースなど、教育現場では学習教材、おたより、通知票など、いろいろな場面で「UD明朝体」、「UDゴシック体」、「UDデジタル教科書体」など、シーンに合った「UDフォント」を積極的に活用しています。

（1）「伝わる」情報の展開

- ・市民に「伝わる」情報を届けられることから、行政サービスが向上します。
- ・市民が行政に理解と関心を持つ機会が増えます。
- ・見やすい、読みやすい、わかりやすい情報により、市民からの問い合わせが減るなど、職員の負担軽減が期待できます。

（2）教育環境の向上

- ・市内小中学校の空調設備完備（100%）に加えて、児童・生徒が見やすい、読みやすい書体による教育を受けられます。

（3）「情報発信日本一プロジェクト」の推進

- ・全国初の「行政・教育部門への一括導入自治体」として、「教育水準の高いまち」、「ユニバーサルデザイン推進のまち」としてのプロモーションが可能となります。

7 取組の効果・費用

(1) これまで得られた効果、今後見込まれる効果

- ・市民からは、市が発信する広報紙や行政文書について、「見やすい」、「読みやすい」、「わかりやすい」との声（評価）をいただいています。
- ・これまでの「伝える」情報発信から「伝わる」情報発信への転換により、職員の意識と情報発信能力が向上し、総合戦略に掲げる5つの重点プロジェクトのひとつ『情報発信で日本一プロジェクト』の推進につながりました。

(2) 効果額など数値

- ・市から市民への「情報伝達度」を測定する項目「十分伝わっている」が0.2%上昇しました。
(市民意識調査 平成30(2018)年度 6.7% → 令和元(2019)年度 6.9%)
- ・メディアに取り上げられる機会が増えたことにより、当市の認知度が24位上昇しました。
(地域ブランド調査 平成30(2018)年 841位 → 令和元(2019)年 814位)

(3) 取組に要した費用

- ・公共UDフォントプラン使用料 年623,700円(1,050台×540円+税)
- ※財源の一部には、国交付金とふるさと応援寄附金を充てています。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）

(1) 取組を進めていくなかでの課題や問題点、苦勞した点

- ・行政・教育部門共に、説明や研修機会を設ける機会が得られませんでした（特に教員向け）。
- ・使用スキルに差異があり、「UDフォント」の活用が進んでいない部署がありました。

(2) 克服・解決方法

- ・定期的かつ積極的な資料提供や情報提供に努めるとともに、オンライン・動画研修機会の提供など、「UDフォント」に触れる機会を増やしました。

9 今後の予定・構想

- ・教師と児童・生徒間での意思疎通を図るため、GIGAスクール構想の実現に向けた「1人1台端末環境」整備に併せて、「公共UDフォントプラン」の導入を検討します。
- ・持続可能なまちづくりを推進していくため、SDGsの理念に沿った市政運営を目指し、「3.すべての人に健康と福祉を」、「4.質の高い教育をみんなに」、「8.働きがいも経済成長も」、「10.人や国の不平等をなくそう」、「11.住み続けられるまちづくりを」を意識した活用を推進します。

10 他団体へのアドバイス

- ・「UDフォント」は、日常生活で目にする機会が増え、多くの方々になじみが深いものとなっています。高齢化社会を迎え、持続可能なまちづくりを推進していくためには、「ユニバーサルデザインシティ」を目指し、「UDフォント」を共通テンプレート・共通言語として活用することが有効であると考えています。

1 1 取組について記載したホームページ

- ・ 公共団体向け UD フォントプラン | フォント製品 | 製品/ソリューション | 株式会社モリサワ
<https://www.morisawa.co.jp/products/fonts/ud-public/>
- ・ フォントスイッチプロジェクト（行方市インタビューページ 8月中旬公開予定）
<https://fontswitch.jp/>
- ・（関連）難読自治体の挑戦 広報紙のデジタル化で「情報発信日本一」へ
<https://www.projectdesign.jp/201708/local-pr/003870.php>